

《2022年》第30回 東京都《シニア》ソフトボール大会要項

競技方法	トーナメント方式7回戦・70分とする（65分経過後は次のイニングに入らない）
競技規則	2022年度日本ソフトボール協会競技規則及び会場特別ルールによる。
表彰	優勝、準優勝、第3位（3位決定戦を行う） 優勝旗、優勝杯、準優勝杯(持ち回り)、第3位、賞状、楯を授与する。 優勝チームには2022年度の全日本シニアソフトボール大会への出場権を与える。 準優勝、第3位チームには2023年度の関東シニアソフトボール大会への出場権を与える。
参加資格	・2022年度東京都ソフトボール協会および日本ソフトボール協会にチームおよび個人が加盟登録したシニアチームに限る。 ②全日本シニアソフトボール大会予選会であることから、上記条件を満たしていないチームの参加は認めない。 ・2022年4月1日現在で59歳以上の者で編成したチームとする。 ・1支部何チームでも、また他支部との混成チームでも出場可能とする。 ・チーム内に指導者の有資格者がいること。
登録者数	監督、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内とする。但し、監督、コーチ、スコアラー、トレーナーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。 ②参加申込み以後の登録選手の変更は認めない。
打順表の提出	第一試合は開始20分前、以後は30分前に提出すること。（出場全選手を記入すること） 打順表は所定用紙で提出し記載のない選手は出場できない。
ベンチ	組合せの若い番号のチームを一塁側とする。 投球練習(1組のみ)以外はベンチから出られない。尚、キャッチャーは外野側とする。
先攻・後攻	監督または主将のコイントスで決める。
コールドゲーム	2022年オフィシャルルールを適用する。（3回15点、4回10点、5回7点）
延長戦	時間内のタイブレーカーは認めるが、勝負が決しない場合は抽選とする。
決勝戦	7回戦・90分とし、勝負が決しない場合は即タイブレーカーを適用し試合を決着する。
日没・降雨等	日没・降雨等で試合続行不能な場合は、3回以降の均等回の得点による。
抗議	監督以外は認めない。
グラウンドルール	試合開始前に審判員より指示する。
紛争の処理	試合中に生じた紛争の解決は担当審判員が全てを処理する。
その他	・投手の投球距離は13,11mとする。 ・故意四球を採用する。 ・フィールドイングは省略する。 ・捕手はスロートガード付マスク、ヘルメット、レガース、ボディプロテクターを着用する。 又、ファールカップを付けることが望ましい。 ・打者、走者及び1塁、3塁コーチは両耳ヘルメットを着用すること。 ・金属及びセラミック製スパイクは禁止する。 ・競技中の怪我については応急処置は施すが、通院等については都協会が加入する傷害保険の適用範囲内で補償を行う。 ・競技場内の指定駐車場で駐車、停車中の車両に競技中のボールが誤って当たり、車両を破損させた場合の補償については都協会が加入する賠償保険の範囲内で対応し、開催支部では一切の責任を負わない。 ・駐車台数が限られているため、台数減にご協力ください。 ・当日は都ソ協コロナウイルスの感染予防ガイドラインを遵守してください。